

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 6 年 1 月 19 日

協議会名：	竜王町公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>本町は、滋賀県の東南部蒲生平野に位置し、東側を雪野山、西側を鏡山に囲まれ、東西約7.6km、南北約8.5km、面積44.55km²、中央部には名神高速道路が東西に走っており、大規模工場や事業所、アウトレットモールが立地している。人口は11,789人、65歳以上の高齢人口は28.3%(令和2年国勢調査)となっており、全国的な傾向と同様に少子高齢化が進んでいる。本町では鉄道駅がなく、町外の鉄道駅を拠点とする路線バスが幹線交通として広域移動を担っている。一方で、町内移動に利用できる公共交通が乏しい現状があり、R4.4月よりデマンド型乗合タクシー「チョイソコリゅうおう」の本格運用を開始。今後の本町での重要な交通手段として安定的な稼働と利用者拡大・フォローが必要であり、町民ニーズを整理・把握しつつ、暮らしやすい移動環境構築を目指していく。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和 6 年 1 月 19 日

協議会名:竜王町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域公共交通調査事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定等に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の現状調査 ・公共交通利用状況調査 ・地域公共交通ネットワーク形成における課題把握 ・地域の公共交通計画(案)のとりまとめ ・協議会開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的データの整理、現況調査などにより、地域の公共交通の状況を整理した。 ・地域および事業者ヒアリングにより、住民の時間帯別、場所別の移動需要を把握することができた。 ・地域に適した交通モード、役割、課題、施策について検討し、協議会に諮るための計画素案を作成。 ・今後の協議会の検討を経て、地域公共交通計画として最終的にとりまとめる。 	A	計画通り事業は適切に実施された。	<p>鉄道駅のない本町において路線バスを幹線、チョイソコリゆうおう(区域デマンド)を支線として位置づけ、マイカーおよび福祉有償輸送等も合わせ、本町での役割を整理。ニーズを明確にし、「移動したい人の移動目的にあった持続可能な移動手段の確保」を目指し、今後の交通ネットワーク構築の施策を設定する。</p>